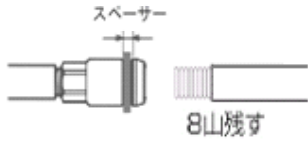
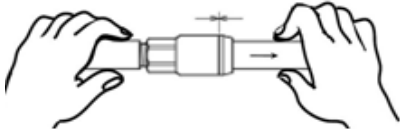
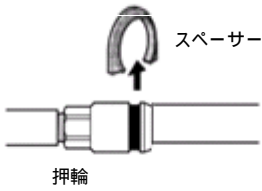


液化石油ガス配管用フレキシ管施工マニュアル（新版） 追 補

平成 21 年 11 月

新タイプのフレキシ管継手の発売に伴い修正するもの。

頁	行など	修正する語または文章など（誤）	修正後の語または文章など（正）
8	(2)(a)構造（例）の新タイプに図（谷シール式）を追加	<div style="text-align: center;"> <p>（谷シール式）</p> </div>	
58	下から12行目		また、ワンプッシュ式の場合、残存山数は7山である。
58	下から1行目	<p><u>また、ワンプッシュ式の場合、</u>図5.11に示すように、フレキシ管を継手奥に突き当たるまで挿入する（フレキシ管が継手奥に突き当たるとき、音又は感触で確認できる）。次に、位置決めカラーを外しナットを押し込む（プッシュする）と、接続は完了である。その他の注意事項は、従来タイプと同様である。</p>	<p>ワンプッシュ式の場合、図5.11に示すように、フレキシ管を継手奥に突き当たるまで挿入する（フレキシ管が継手奥に突き当たるとき、音又は感触で確認できる）。次に、位置決めカラーを外しナットを押し込む（プッシュする）と、接続は完了である。その他の注意事項は、従来タイプと同様である。</p> <p><u>谷シール式の場合、図5.11'に示すように、フレキシ管を継手奥に突き当たるまで挿入する（クリック感で挿入完了が確認可能）。次にスパースーを外し押輪を押し込む（押輪着色部が見えなくなるまで）と接続は完了である。最後にフレキシ管を引張り押輪が抜けないことを確認する。その他の注意事項は、従来タイプと同様である。</u></p>

頁	行など	修正する語または文章など（誤）	修正後の語または文章など（正）		
59	図5.11'を追加	<p>8山はくりのフレキシ管を継手奥に当たるまで挿入する</p>  <p>フレキシ管を引張り、押輪が抜けないことを確認する</p> 	<p>スペーサーを外し、押輪が本体に当たるまで押し込む（押輪着色部が見えないこと）</p> 		
<p>図5.11' 谷シール式の場合のフレキシ管の挿入</p>					
60	(f) 漏れ検査の実施の表に、タイプ3(谷シール式)を追加	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; padding: 10px;"> <p>タイプ3 (谷シール式)</p> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 10px;"> <p>仮切断</p> <p>被覆のはくり</p> <p><u>切断（8山残し）</u></p> <p>配管用フレキシ管の挿入</p> <p><u>スペーサーを取り外し</u></p> <p><u>押輪を押し込む（着色部が消えるまで）</u></p> <p><u>引張り確認</u></p> </td> </tr> </table>		<p>タイプ3 (谷シール式)</p>	<p>仮切断</p> <p>被覆のはくり</p> <p><u>切断（8山残し）</u></p> <p>配管用フレキシ管の挿入</p> <p><u>スペーサーを取り外し</u></p> <p><u>押輪を押し込む（着色部が消えるまで）</u></p> <p><u>引張り確認</u></p>
<p>タイプ3 (谷シール式)</p>					
<p>仮切断</p> <p>被覆のはくり</p> <p><u>切断（8山残し）</u></p> <p>配管用フレキシ管の挿入</p> <p><u>スペーサーを取り外し</u></p> <p><u>押輪を押し込む（着色部が消えるまで）</u></p> <p><u>引張り確認</u></p>					